

- 平成27年3月 ハイフォン市水道公社マッピングシステム再構築業務
- 平成28年2月 ベトナム地方6都市U-BCF実証実験(中小企業海外展開支援事業)
- 同年7月 ハイフォン市アンズオン浄水場改善計画・詳細設計業務
- 平成29年2月 ハイフォン市下水道施設情報管理システム整備事業
- 平成30年8月 ハイフォン市アンズオン浄水場改善計画

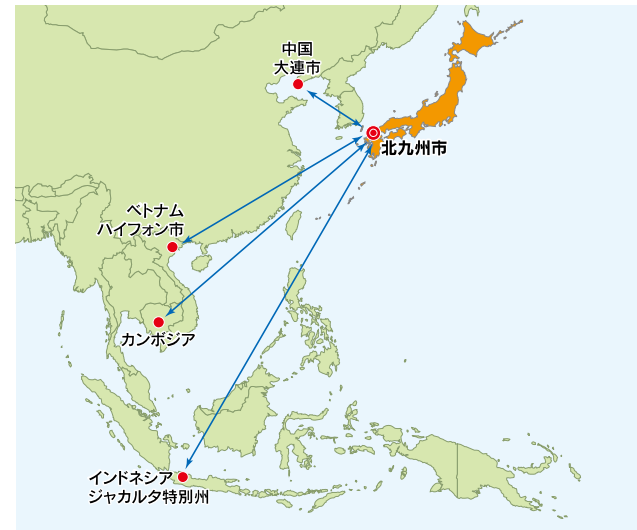
【インドネシアの主な受注案件等】

- 平成24年11月 スラバヤ市下水道整備計画策定業務を国土交通省から受注(協議会会員企業と共同)
- 平成25年 6月 スラバヤ市における低炭素都市計画策定のための技術協力(JCM案件)に協力
- 平成26年 2月 ジャカルタ特別州下水道整備事業に係る補完調査業務
- 同年 9月 インドネシア対象本邦下水道研修開催支援業務
- 平成28年 4月 インドネシア・ジャカルタ特別州下水道整備にかかる計画策定能力向上プロジェクトに係る本邦研修実施業務

(5) 水ビジネスの国際戦略拠点づくり

平成24年4月、北九州市は国土交通省より、国際展開に先進的に取り組む地方公共団体として、水・環境ソリューションハブ(WES Hub)の構成メンバーに認定された。

この認定を契機に、海外での競争力・優位性の確保、国際ビジネス基盤の強化を図り、海外水ビジネスをより一層加速させるため、ウォータープラザやビジターセンターを備えた「水ビジネスの国際戦略拠点」を整備し、活用を図っている。



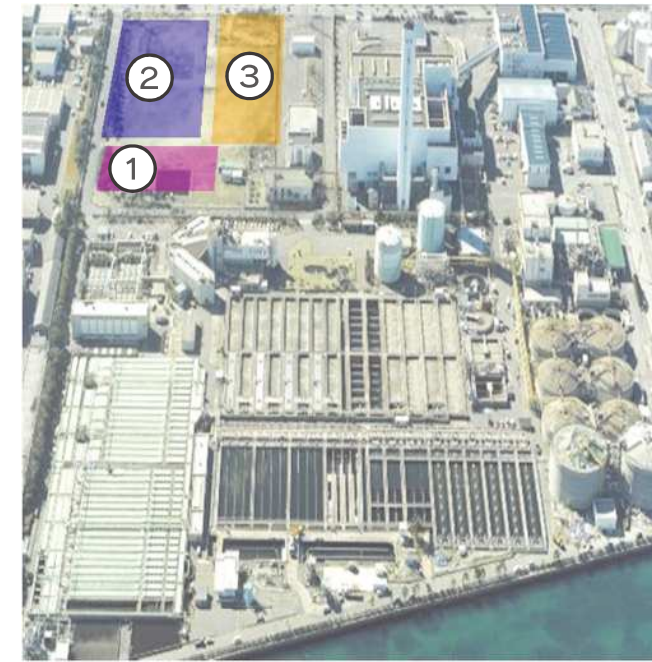
【トピックス】令和元年度上下水道ユース研修

上下水道分野の「インフラ整備を担う人材育成」や「国際技術協力などの情報発信」を目的に、JICA九州との共同主催により「上下水道ユース研修」を実施。
 34人の応募の中から選ばれた市内高校生6人が、7月末の国内研修の後、8月5～10日の期間にベトナム・ハイフォン市での海外研修に参加した。
 11月には、「エコライフステージ」で、参加高校生による研修成果の発表も行われた。

市長への成果発表

世界遺産ハロン湾での水環境学習

水ビジネスの国際戦略拠点 ～先進技術のショーケース～



① ビジターセンター(日明浄化センター管理棟)

(構造階数) 鉄筋コンクリート造3階建
 (延床面積) 約2,900㎡



<3階 技術・製品展示> <2階 下水道学習フロア>

<1階 水質試験室> <2階 プレゼンルーム>

② ウォータープラザ

- ◇海水淡水化と下水の膜処理を組み合わせた先進の造水システム
- ◇官民一体で、海外での事業化に向け実証研究



③ 汚泥燃料化(H27.10 供用開始)

石炭代替燃料として活用

- ・能力：70t/dの下水汚泥を約20tの燃料に生成
- ・用途：火力発電/セメント工場の熱源
- ※生成から消費まで、市内で完結



事業全体でのCO₂削減量11,300ton